

水と暮らしを支える活動をしています！

岐阜県の皆さん、こんにちは！日本は、まだ寒い日が続いている頃でしょうか。こちらザンビアは、雨季の初めに植えた作物がぐんぐん育ち、大地の力強さを感じています。さて第9回は、**ザンビアの水と衛生**について紹介します。私は現在、水と衛生に関わる活動をしています。生きていくのに欠かせない水。しかし、その状況は場所によって大きく異なります。現地の水をめぐるリアルな暮らしを少しでも感じていただけたら嬉しいです。



近所にいたカメレオン

場所ごとに見る水とトイレ

同僚の家では、、、

- 井戸や屋外の共同水栓から水を汲み、バケツなどに溜めて生活用水として使用。
- 屋外の穴式トイレで、世帯によっては、複数の家族で共同のトイレを使用。



屋内に溜めた水

トイレ外観

トイレ内部

学校では、、、

- 井戸や屋外の蛇口が設置され、手作りの手洗い場が置かれていることもある。壊れていたり工事が中断していて使えない場合も多い。
- 洋式トイレの学校もあれば、穴式トイレの学校もある。洋式でも、バケツで水を流すところが多いのが現状。



校内唯一の井戸

手作りの手洗い場

トイレ外観

トイレ内部①

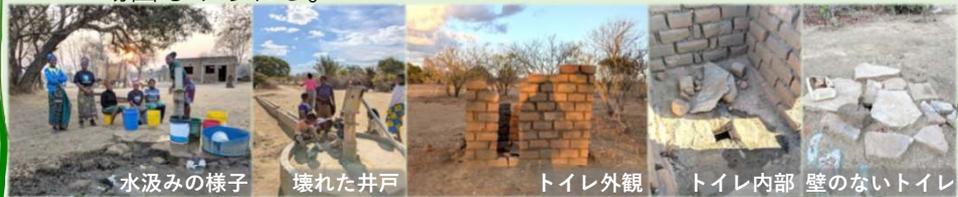
トイレ内部②

学校で“身近な水”をテーマに絵を描いた時、井戸を描く子と蛇口を描く子が半々ほどいて、驚きました



村では、、、

- 井戸が中心。壊れていても修理費が足りず、直せず放置されている場合も。水が十分に確保できないため、乾季に農業できない家庭もある。
- 家から離れた場所にあり、屋根や壁がない場合もある。幼い子どもは穴に落ちる危険があるため、屋外で排泄している場面もみられる。



水汲みの様子

壊れた井戸

トイレ外観

トイレ内部

壁のないトイレ

私の家では、、、

- 井戸水を電気がある間にタンクに組み上げているため、長期の停電が無ければ断水はあまりない。ただし、水が濁ることはある。
- トイレは水洗式。



貯水タンク

袋に入った水

マーケットでよく売られています

停電・断水、井戸に水汲みへ！



水汲み風景

大雨と雷が続いたある日、送電線の故障で数日間の停電と断水が起きました。水の備蓄もなくなり、近所の人と井戸へ水汲みに向かいました。

出てきた水の色を見てにびっくり。前日の大雨の影響で、茶色く濁っていました。さらに井戸も壊れかけており、バケツ1杯の水を汲むのに約1時間かかりました。茶色く濁っていたため、使えるのはトイレを流す水程度でした。

その日の代償は全身の筋肉痛。ザンビアの人たちのたくましさをもっと感じた出来事でした。



茶色い水

水を運ぶ友人

今月の1枚



散歩中！
友達と歩いていると、子どもたちが次々に集って来ました。この町では外国人は珍しい存在です。私との出会いが、子ども達が世界に目を向けるきっかけになればいいなと思います

最後までお読みいただき、ありがとうございました。次回は、国立公園について紹介します。来月号もどうぞお楽しみに！

